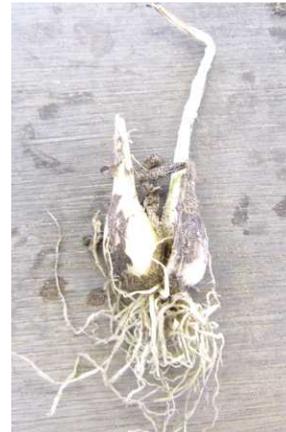


■ アンケート抜粋

農業者 「作業される方によって、ラッキョウ種球の良・不良の区別がまちまちだったので、もう少し説明が必要だった。」

施設 「途中から、土を落とす担当と良・不良の区別をする担当に分けることで、作業効率が上がった。」



種球をトントンと机に軽く打ち付けて砂を落とす。

■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- 人によって皮膚がかぶれることがあるので、長袖作業着や手袋等を着用すること。
- 砂が目に入らないよう注意すること。
- 腐れ等の除去や大小の選別が確実にできるよう、サンプルを示して事前の技術習得に努めること。
- 適度な休憩時間を確保する。

■ プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 農家、障害福祉サービス事業所等の双方が作業内容等を把握するための手順書を作成。

■ プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 発注する農家毎に求められる作業内容や質が違うので、最初に聞き取りをし、手違い等がないよう選別基準を明確にしておくことが必要。
- 利用者に応じて作業時間の調整や、緊張状態にある利用者への配慮の仕方を考えていく必要がある。
- 今後も継続的に受発注されるよう、農家とよい関係をつくって欲しい。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上				
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がいの種類	身体	知的	精神	その他

ラッキョウの植付け作業

モデル事業による農業の受委託事例

ラッキョウの植付けは、7月中旬から9月にかけて行われており、8月に最盛期を迎える。

この作業は、鳥取市福部町の農家からの受託作業。職員2人が同行し、精神障がいのある施設利用者4人で30アールの畑に植付け作業を行った。

暑い砂地での作業のため、暑さ対策として、作業時間を早朝6時から9時までに設定し、防暑衣や地下足袋などを着用した。

植付け作業は、生産者が事前にトラクターで作った植え溝に、ラッキョウの種球を5～8センチメートル間隔で植え込んでいった。暑さ対策で水分を取り過ぎ、おなかを壊す者もいたが、心配された熱中症等はなく、作業能率も日に日に高まった。



最初は、作業者が横に広がるように植付け作業をしていたが、縦に広がるようにして、受け持ち距離を短くすることで、負担感の軽減を図った。



■ 主な工程

種球の植付け

種球を1つ1つ溝の中央に指定された間隔・深さで埋め込んでいく。
植付けながら歩を進めることで、砂が溝になだれ込み、種球の上を砂が覆う。



■ アンケート抜粋

農業者 「暑い時期なので、体調を崩さないか気になっていた。早朝の作業のしやすい時間帯にでき、よかった。」

施設 「植える間隔が判らない利用者がいた。お借りした日よけの帽子がとても役だった。」

■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- 植え付け間隔や深さが指示通りになっているか、チェックする。
- 植え溝が風等で埋まるので、植え付け作業は1日で終わる。
- 砂畑が高温になるので、防暑衣や地下足袋等を装備する。
- 炎天下での作業になるため、熱中症・過労に注意する。

■ プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 作業期間中、数回現地確認し、作業の様子などを確認した。

■ プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 事業所及び利用者の事情も考慮しながら、可能な限り作業を早朝に作業を行うなど、酷暑対策が必須。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上				
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がい の種類	身体	知的	精神	その他

白ネギ育苗用トレーの洗浄作業

モデル事業による農業の受委託事例

白ネギ生産農家からの請負作業。白ネギの苗を育成するための硬質プラスチック製のセルトレーの洗浄作業を行った。現在、野菜や花きの移植栽培の多くの場面でセルトレーが活用されており、洗浄作業は手間のかかる作業とのこと。

作業は施設の知的障がい者3人で行い、2日間で1,000枚のトレーを洗浄した。

農家のかたは「単純な作業ではあるが、洗浄するとなると手がかかるし、このようにやってもらえると大変助かる。今後の作業についても手にあるものは作業委託することを考える。」と仕上がりには満足されたようだ。



作業は、3人1組で息を合わせて行う。

■ 主な工程

トレーの挿入



洗浄機にトレーの上面を下に向けて挿入する。

トレーの受け取り



洗浄機内では流水によりトレーが洗浄される。送り出されるトレーを受け取り、次の作業者に渡す。

破損確認・積上



トレーに破損がないか確認しつつ、水切りし、乾燥のためにバランスをとりながら交差するようにトレーを積み上げる。

■ アンケート抜粋

農業者 「各自の能力に応じた役割分担ができ、作業が順調にはかどった。」

施設 「作業場入口日陰での作業であり、蒸し暑いものの炎天下の作業より多少は身体が楽だった。」

■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- 洗浄機の周辺では、手を挟むなどの事故がないよう注意する。
- 中腰での作業になるので、姿勢に注意する。
- 洗浄機から出る機械音や流水音について、事前に確認する。

■ プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 作業期間中、数回現地確認し、作業の様子などを確認した。

■ プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 作業にあたる3人の連携プレーが必要。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上				
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がい の種類	身体	知的	精神	その他

秋冬ネギ畑の除草作業

モデル事業による農業の受委託事例

鳥取県の代表的な農産物である白ネギ。秋冬ネギは10月から2月にかけて旬を迎える。除草作業は、1シーズンに3～4回程度行うとのこと。

県中部地域の白ネギ生産農家からの受託作業。ネギ畑の雑草をハサミや手で取り除き、畑の外に持ち出す作業で、草の大きさや種類により、ハサミを使うか手で取るかを決め、臨機応変に対応。

10アールのネギ畑を、障がい者3人で4日間かけ除草した。



■ 主な工程

ネギの株の間にある雑草の除草

雑草を、ハサミや手で取り除き、畑の外に持ち出す。大小様々な雑草があるので、使う道具も臨機応変に変える。



■ アンケート抜粋

農業者 「1人での除草は無理なので、手伝ってもらいたい。」

施設 「草取りをする際に、疲れない格好など農家のかたから聞いて、利用者に伝えればよかったと思った。」

■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- ネギを折ったり、傷つけないように注意する。
- 畝（うね）を、出来るだけ崩さないようにする。
- 手取りした草（スギナ等）は、管理機にからむため畑の外に持ち出す。

■ プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 白ネギの根本にある取りにくい草は残しておくよう伝えた。

■ プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 人手のかかる作業であり、潜在的なニーズはあると思われる。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上			
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がい の種類			
										身体	知的	精神	その他

落花生の収穫作業

モデル事業による農業の受委託事例

だいせん 大山町では数十軒の農家で「だいせん大山ピーナッツ生産組合」を立ち上げ、地域ブランド「大山ピーナッツ」を特産品として生産している。作業は落花生を栽培している組合法人からの受託。

らっかせい 落花生の収穫は、機械で掘り起こし、作業にあたる障がい者らが手作業で引き抜き、天日乾燥のため葉を下にし、実が上になるように並べる。

こうして、2～3日程度は畑に置いて天日で乾燥し、さや取りをした後、さらにハウス等で乾燥させ、広島にある加工会社に出荷される。加工後、商品として主に道の駅「大山恵みの里」で販売されているとのこと。

今回の受託作業は、職員が3人同行し、施設の知的障がい者8人で1日作業し、12アールの畑の落花生を処理した。



■ 主な工程

1. トラクターを使って掘り起こされた落花生を引き抜く。
- ▼
2. 落花生を葉が下、実を上にした状態で並べる。



■ アンケート抜粋

農業者 「2～3年は一緒に作業をし、経験値を増やし、自立した落花生栽培を目指してほしい。」

施設 「利用者の声として『楽しかった』との声が上がった。作業自体も利用者によっては問題なくできると感じた。」

■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- 作業の際はトラクターなどの機械に近づきすぎないようにする。
- 掘り起こされた落花生は、茎の下の部分をしっかり持って引き抜く。

■ プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 作業期間中、農家、作業所との連絡を密に行い、作業の様子を確認した。

■ プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 農家の理解が深く、作業がスムーズに行くように協力しながら進めた。
- 農家と作業所との信頼は厚く、今後も作業委託する意向もあり、新たな作業も検討されるなど、今後も良好な関係が継続することを期待したい。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上						
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がい の種類			身体	知的	精神	その他

マコモタケの出荷前調整作業

モデル事業による農業の受委託事例

マコモタケは「マコモ」というイネ科の水生多年草の栽培種で、根元の肥大した茎部分を食用にします。主に東南アジアや台湾などで栽培されており、しゃきしゃきした食感はタケノコに似て、ほのかな甘みがあるのが特徴。

岩美町では転作作物としてマコモタケが平成16年に導入されました。現在では8戸の農家が約70アールで栽培され、毎年5、6月頃に植付け、10月上旬から11月上旬にかけて出荷されている。

岩美町マコモタケ生産協議会からの受託作業で、JAが原材料を施設に搬入し、作業は施設内で行い、施設を利用する精神障がい者3人で作業を行った。

生産者からは、「マコモタケは収穫して出荷までに行う作業が多く大変なので、皮むきをしてもらえるのは助かる。」との声があった。



作業風景

座っての作業のため、立ち仕事に比べ疲労は少ない。

衛生面から帽子、マスク、手袋をして作業をしている。

「皮をむく作業は気持ちいい」という施設利用者もいた。

むき終わったマコモタケ

レンジ等で加熱して和え物にしたり、炒め物、天ぷらなどにして食べるとおいしい。



■ 主な工程



1. ハサミで付け根を切り、外皮を外す。



2. 手で内側の皮をむく。



3. ピーラーで緑色の部分がなくなるよう表面を剥ぐ。

4. 虫食い、剥き残しが無いかチェックし、計量、梱包する。

■ アンケート抜粋

農業者 「特に問題はなかったが、作業能力が前もって判っていたら良かった。」

施設 「楽しく、無理なく作業が出来た。ピーラー等の道具の準備や衛生管理について事前に職員が確認することが必要だと感じた。」

■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- 作業中の鮮度保持に努め、期限内に作業を終えること。
- 皮むき後は、作業区域を分けるなど食品としての衛生管理に努めること。
- 最終梱包前に不良品を確実に選別し、決められた重さを確認すること。

■ プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 生産者、JA、施設が連携して納期を守れるよう、搬入・処理・保管の一連の手順を確認した。
- 作業環境や作業定順について、食品衛生の観点からアドバイスを行った。

■ プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 搬入、納品時間等の連絡体制の確保と、成果物に求められる作業精度の確認が必要だった。
- 生産量が少ないため、作業量や時期が限定的である。特産地化を進める上でも生産拡大を支援するとともに、加工などにも幅広く展開すると更なる可能性が広がる。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上				
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がいの種類	身体	知的	精神	その他

山行苗木ほ場の除草作業

モデル事業による林業の受委託事例

やまゆき

山行苗木とは、山林に植えるスギやヒノキ等の苗木のこと。

県東部にある樹苗業者から苗木ほ場の除草作業を障害福祉サービス事業所等が受託。9日間、職員1人が同行し、施設利用者7名で作業を行った。

約30アールほどの広大なほ場にはクヌギ、アカマツの苗木が植えられており、畝と畝の間、苗木と苗木の間に雑草が生えるため、手作業で除草する必要がある。

作業受託は6月から8月の間で、月に3回程度の頻度で実施。発注した樹苗業者の方も出来映えには満足されたようだ。



■ 主な工程

1.作業員は畝間の溝部分に適当な間隔をとって並び、横に移動しながら、畝と溝に生えている雑草を引き抜いていく。



2.引き抜いた雑草は集積しておき、後でゴミ袋に詰める。

作業前



作業後



■ アンケート抜粋

種苗業者 「丁寧な作業に大変満足。
今回と同じような料金設定ならば別作業も委託したい。」

施設 「小さな雑草を取り残すことが多かったが、複数の利用者で確認を徹底した。」



■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- 適宜休憩、水分補給を行い、熱中症対策をする。
- 利用者により、草によるかぶれを注意する。
- ほ場内に除草後の雑草を放置しないこと。
- 間違えて苗木を引き抜かないこと。

■ プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 日陰のない暑い中での作業だったので、適度な水分補給と休憩を取って、利用者の体調の変化に注意するよう助言した。
- 苗木の引き抜きを防ぐため、アカマツの苗木のように雑草と区別が付き易いものから作業を始めるように助言した。

■ プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 雑草と苗の区別がつかない利用者もあったが、作業場所を苗木のない畝と畝の間の除草などを限定し、作業員全員で作業を行うことができた。
- 複数の利用者で、成果の確認を行うなど丁寧・確実な作業を行うことができた。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上			
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がい の種類			
										身体	知的	精神	その他

アゴ（トビウオ）の下処理作業

モデル事業による水産業の受委託事例

「アゴ」とは「トビウオ」のことで、身は脂肪分が少なく淡白な味の魚。鳥取県では5月下旬～7月にかけて旬を迎える。

アゴふりだしの原材料として出荷するために、漁協で行う下処理作業を受託。4工程程度に分け、頭、ひれ、鱗、内臓を取り除き、きれいに洗う作業。

この作業は、県中部の漁協からの受託作業。作業は、施設職員1人が同行し、障がい者3人で8日間実施した。



帽子、マスク、手袋、前掛け、長靴などを着用して作業する。長時間、同じ姿勢で作業を行うため、腰などが疲れやすい。

■ 主な工程

胸びれ・頭部・
腹びれをとる



道具を使わず
作業する。

鱗をとる



包丁の刃で鱗を
そぎ落とす。

腹を割き、
尾びれをとる



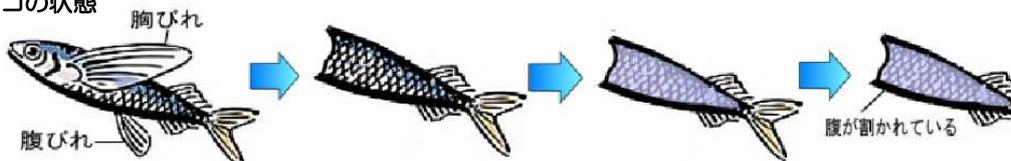
はさみで腹を割
き尾を落とす。

内臓をとり、
水洗いをする



内臓を取り出し
流水で洗う。

アゴの状態



■ アンケート抜粋

水産者 「一つ一つの作業を集中してやってもらえた。アゴの作業以外でもいろいろとやっていただけと思うので、是非お願いしたい。」

施設 「最初は道具の使い方にとまどう利用者もあったが、徐々に慣れて使いこなせるようになった。」



作業後のアゴ。漁協から出荷後ミンチ等に加工される。

■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- マスク、手袋の着用など、衛生面を徹底すること。
- 長時間の立ち仕事になるので、正しい姿勢を保つなどし、疲れないように心がけること。
- 個々の役割や仕事の残量に気を配り、作業人員の割り振りを行うこと。

■ プロジェクトチームでの工夫

- 普段から作業に携わる加工部の方にお話を聞き、作業工程を分析。資料化して事業所に提供した。
- 委託契約締結前に実際に作業を体験するための作業実習を実施した。

■ プロジェクトチームでの検討結果

- 今回協力していただいた漁協での加工業務が増加しているところでマッチングができ、今後の連携に期待が持てる。
- 回数を重ね、慣れることで作業のスピードが上がり、十分に作業ができる。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上			
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
難易度	易しい	普通	普通	難しい									
地域性						西部	中部	東部					
障がい の種類									障がい の種類	身体	知的	精神	その他

定置網漁の荷揚げ作業と朝市での販売

モデル事業による水産業の受委託事例

岩美町浦富にある県漁協浦富支所では、朝漁獲したばかりの新鮮な海の幸を地元のかたに提供することを目的に、6月～8月上旬にかけ毎週土曜日限定の「朝市」を、平成23年から開始した。

地元の障害福祉サービス事業所等では、この朝市のために行われる定置網漁でとれた魚の荷揚げ作業と、朝市での販売作業を作業補助をする業務を受託。

定置網漁は様々な種類の魚が獲れるが、荷揚げ作業ではその仕分けをし、箱づめを行う。障がい者が魚箱への氷入れ、計量、選別・箱詰めなどの作業を実施。

荷揚げ作業後には、朝市の会場に移動し、設営、販売、後片付けなどを行った。

施設職員2人が同行し、障がい者3人で7日間実施。



荷揚げは分業し流れ作業で行う。

■ 主な工程

魚箱への氷入れ



コンテナの氷を魚箱に入れならしておく。

計量・袋詰め



朝市で販売するために、前もって袋詰め作業をしておく。

選別・箱詰め



アジやアゴなどの魚を種類、大きさ別に仕分けていく。

■ アンケート抜粋

水産者「魚の選別がだんだんと上手になった。接客でも笑顔が出るようになりいい雰囲気を作ってくれた。来年もいっしょにやりたい。」

施設「地元での取組でもあり協力して地元を盛り上げることができてうれしい。利用者の意欲もあり、社会参加ができるので是非続けたい。」

朝市は、地元の人や観光客で賑わう。



■ 作業における配慮、指導方法のポイント

- マスク、手袋の着用など、衛生面を徹底すること。
- 個々の役割や仕事の残量に気を配り、作業人員の割り振りを行うこと。
- 接客では、明るい声かけや笑顔に心がける。
- 注文の聞き取り、袋詰め、代金の受け取りなどをスムーズに行う。

■ プロジェクトチームでの工夫

- 全体での作業内容が比較的煩雑で工程が多かったため、事前に荷揚げ作業を視察し、利用者の作業内容などの調整を行った。
- 委託契約締結前に実際に作業を体験するための作業実習を実施した。

■ プロジェクトチームでの検討結果

- 障がいに対する漁協等の理解があったからこそ、協力関係が築けた。
- 来年度以降も継続することで、互いの利益になげ、永続的な取組となることを期待したい。



地元のCATVで朝市のPR。

■ 作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上				
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がいの種類	身体	知的	精神	その他

モデル事業に参加した施設・事業所

受委託参加事業所等の地域別一覧（2012年7月31日現在）

※2012年3月末までにモデル事業に参加した施設・事業所を紹介しています。

県東部の施設・事業所

事業所名	種別	所在地	電話番号
あゆみ工房	就労継続支援B型事業所	鳥取市河原町渡一木277-1	0858-85-1825
岩美かたつむり工房	就労継続支援B型事業所	岩美郡岩美町大字新井269番地	0857-72-0200
えがお株式会社	就労継続支援B型事業所	鳥取市南吉方1丁目2-2	0857-29-2032
かめの会作業所	就労継続支援B型事業所	鳥取市伏野1558-12	0857-59-6006
さくら工房	就労継続支援B型事業所	鳥取市気高町浜村780番地2	0857-82-4500
サンサンファーム元輝	就労継続支援A型事業所	八頭郡八頭町池田432-1	0858-72-2492
佐治ふれあい作業所 (あゆみ工房の従たる事業所)	就労継続支援B型事業所	鳥取市佐治町加瀬木2235 佐治町保健センター内	0858-88-0118
就労継続支援事業所 パレアナの家	就労継続支援B型事業所	八頭郡八頭町宮谷225-1	0858-72-0990
たんぽぽ	就労継続支援B型事業所	八頭郡八頭町井古35	0858-72-2558
智頭作業所	就労継続支援B型事業所	八頭郡智頭町智頭1795番地1	0858-75-3886
鳥取市社会福祉協議会 ふくし作業所 用瀬事業所 (鳥取市社会福祉協議会ふくし作 業所の従たる事業所)	就労継続支援B型事業所	鳥取市用瀬町別府96-2	0858-87-2302
789(なんやこの)作業所	就労継続支援B型事業所	鳥取市用瀬町安蔵1049	0858-87-3770
白兔はまなす園	就労移行支援事業所 就労継続支援B型事業所	鳥取市伏野2256-1	0857-59-0052
ひという工房	就労移行支援事業所 就労継続支援B型事業所	鳥取市徳尾175-4	0857-22-7739
フレンドシップ	就労継続支援A型事業所 就労継続支援B型事業所	鳥取市的場4丁目36番地	0857-53-0789
フェリース	就労移行支援事業所 就労継続支援A型事業所 就労継続支援B型事業所	鳥取市徳尾334-3	0857-50-1958
船岡作業所	就労継続支援B型事業所	八頭郡八頭町船岡殿163	0858-73-0797
和貴の郷	就労移行支援事業所 就労継続支援A型事業所 就労継続支援B型事業所	鳥取市河原町長瀬61-11	0858-85-3738